



2001年11月19日に「世界トイレ機関」が創設され、「世界トイレサミット」が行われました。その後、2013年に国連が「トイレに関する問題を世界の人々がもっと考え、少しでも改善していく」ことを目的に、毎年11月19日を「世界トイレの日」と制定しました。

トイレについて考えてみよう

私たちの身の周りのトイレにはどのようなものがあるか、どのような（建物としての）特徴・機能・役割があるか考えてみよう。

例：ドア・壁・洗面台がある、照明がつく、ドアに鍵をかけられるなど

世界で約 億人が外で用を足している (2022年時点、空欄の答えは右下へ)

SDG.6.2で「すべての人々の、適切かつ平等な下水施設・衛生施設へのアクセスを達成し、野外での排泄をなくす。女性及び女子、ならびに脆弱（ぜいじゃく）な立場にある人々のニーズに特に注意を払う。」と定められています。



扉・照明が無いトイレ（インド）

もしトイレがなかったら、使いにくかったら

わざわざ遠く離れたトイレまで用を足しに行ったり、地面に掘った穴や草むら、道端、川などで野外排泄をしたりすることになります。野外排泄は水や土壌を汚染するため、病気にかかって学校へ通えなくなったり、仕事ができなくなったり、命を落としたりしてしまいます。

また、思春期の女の子の場合、野外排泄は不衛生で生理に対応できないうえ、見知らぬ人から嫌がらせや暴行を受ける可能性もあって特に危険なため、学校を休みがちになったり、中退したりしてしまうことが少なくありません。

以上のように、トイレが無い・使いづらいという問題は貧困の悪循環に直結しています。言い換えれば、こうした**トイレの問題を改善・解決**することで、**多くの社会問題を改善・解決することもできる**のです。



Y 図 (6T) (4.1) 景

参考・引用
 ・公益財団法人日本ユニセフ協会「世界トイレの日プロジェクト」
 ・国連デジタルライブラリ A/RES/67/291
 ・国連HP 世界トイレの日特設サイト（英語）

Together, We Can CHANGE the World はじめてみよう！あなたにできること。

もっと国際デー！

関連情報を調べてアクションをおこしてみよう！

FTCJはあなたの好きなこと・特技を活かした国際協力をおすすめしています。あなただからこそできる国際協力を一緒に探しませんか？全国のメンバーが様々なアクションを起こしています。アクションのヒントはコチラで検索！

FTCJ 活動ヒント 検索